



東浦町公共施設再配置計画 第1回ひがしうら公共施設未来会議 報告書

テーマ：公共施設の再編に向けて

日時・場所：2022年11月27日(日)10時～16時／勤労福祉会館 2階 会議室1

参加者：計20名（住民14名、スタッフ6名）

配布資料：おしながき、ワークシート、説明スライド資料（町を取り巻く状況と課題、これまでの検討から見えてきたこと）、【速報版】東浦町公共施設に関するアンケート調査、地区別アンケート＋ヒアリングまとめ

公共施設の再編を検討するために、無作為抽出により選ばれた町民による町民主体の検討の場として、「ひがしうら公共施設未来会議～Future Session @Higashiura～」を開催しました。名古屋大学大学院環境学研究科の小松尚教授からの基調講演や、東浦町及び日本工営都市空間から情報共有を行った上で、公共施設再編ワークを行いました。

内容及び結果を以下のとおりまとめます。





- 1 公共施設再編ワークについて
- 2 プログラム及び当日の様子
- 3 ひとつことアンケート結果

1 公共施設再編ワークについて

ワークの内容

◇個人ワークシートの記入

- ・ワークシート上で付箋ワーク

- ・シート A) 東浦町内（町全域）にひとつだけ必要な施設とその理由（1枚のみ） 
- ・シート B) 地区内にひとつは必要な施設とその理由（1枚のみ） 
- ・シート C) 集約化・複合化できそうな施設とその理由（複数枚可） 
- ・シート D) 廃止やむなしと思われる施設とその理由
+用途変更や転用、民間や地元任せなどのアイデア（複数枚可） 

◇グループ内で共有・提案づくり

- ・グループ内で、個人ワークの内容を付箋等を用いながら、大判の地図上で共有
- ・グループ内で共有した意見を踏まえ、グループとして、地域に欠かせない施設及び集約化・複合化できそうな施設、廃止やむなしの施設をとりまとめ

◇グループ発表&全体共有

- ・グループの提案を発表し、全体で共有



各グループで発表のあった主な意見

1グループ

A) 東浦町内にひとつだけ必要な施設	役場（ここに来れば全てが解決できるため、将来を託すという期待をこめて）
B) 地区内にひとつは必要な施設	コミュニティセンター（今の使い方はもったいない、役場まで行いなくても各地域で解決できるといい、お年寄り等遠くに行けない人も助かる）
C) 集約化・複合化できそうな施設	学校（学校を主体として図書館等の機能を複合、保育園等も合わせて教育機能全体を複合）
D) 廃止やむなしと思われる施設	勤労福祉会館（何の施設かわからない、似たような施設があり役割が明確でない、もっと有効活用したい）

2グループ

A) 東浦町内にひとつだけ必要な施設	役場（災害の対応、町全体の管理や運営）
B) 地区内にひとつは必要な施設	学校、保育園（それぞれの地域の文化や考え方が決まっている）
C) 集約化・複合化できそうな施設	児童館、老人憩の家（子供と老人の交流、さらにコミュニティセンターも複合すれば全年代の人が交流できる）
D) 廃止やむなしと思われる施設	廃止→文化広場（体育館は学校でもいい）
その他)	<p>少子高齢化の中で支え合い・互助共助がポイントとなる</p> <p>→空き家を活用して公設民営のサロンを設置</p> <p>→まずはモデル地区から、高齢者でも歩いて行ける距離に設置</p> <p>東浦の魅力発信できる施設をどこかに作る</p>

3グループ

A) 東浦町内にひとつだけ必要な施設	役場（町の司令塔）
B) 地区内にひとつは必要な施設	<p>小学校（各地区に教育施設は必要、通学にも配慮）</p> <p>コミュニティセンター（情報発信や避難所など、行政の付加価値をつける）</p>
C) 集約化・複合化できそうな施設	小中一貫校（統合できると思ったが、森岡地区等で人口増加すると受け入れられなくなってしまうので注意が必要）
D) 廃止やむなしと思われる施設	老人憩の家を廃止（効果的に使用できていない、コミュニティセンター等の他施設で代替可）

4 グループ

A) 東浦町内にひとつだけ必要な施設	東浦町役場（何かあった時にすぐいける）
B) 地区内にひとつは必要な施設	小学校（地域の核となる施設）
C) 集約化・複合化できそうな施設	学校、児童館、保育園（教育・子供の施設を統合する、子どもの移動範囲が狭くすることができる） 各種支援センター、文化センター、役場を合わせる
D) 廃止やむなしと思われる施設	老人憩の家（利用者が限定されているので、コミュニティセンターと合わせる）

5 グループ

A) 東浦町内にひとつだけ必要な施設	役場（行政の総合的な窓口として、1箇所だけの方がいい）
B) 地区内にひとつは必要な施設	小学校（子供たちが安全に歩いていけるように）
B) 地区内にひとつは必要な施設 + C) 集約化・複合化できそうな施設	コミュニティセンター+ふれあいセンター
D) 廃止やむなしと思われる施設	文化広場はなのき会館（調理場があるが、使われていないので体育施設のみにして、ジムとかにする） 町営住宅（民間の方に任せても問題ない）



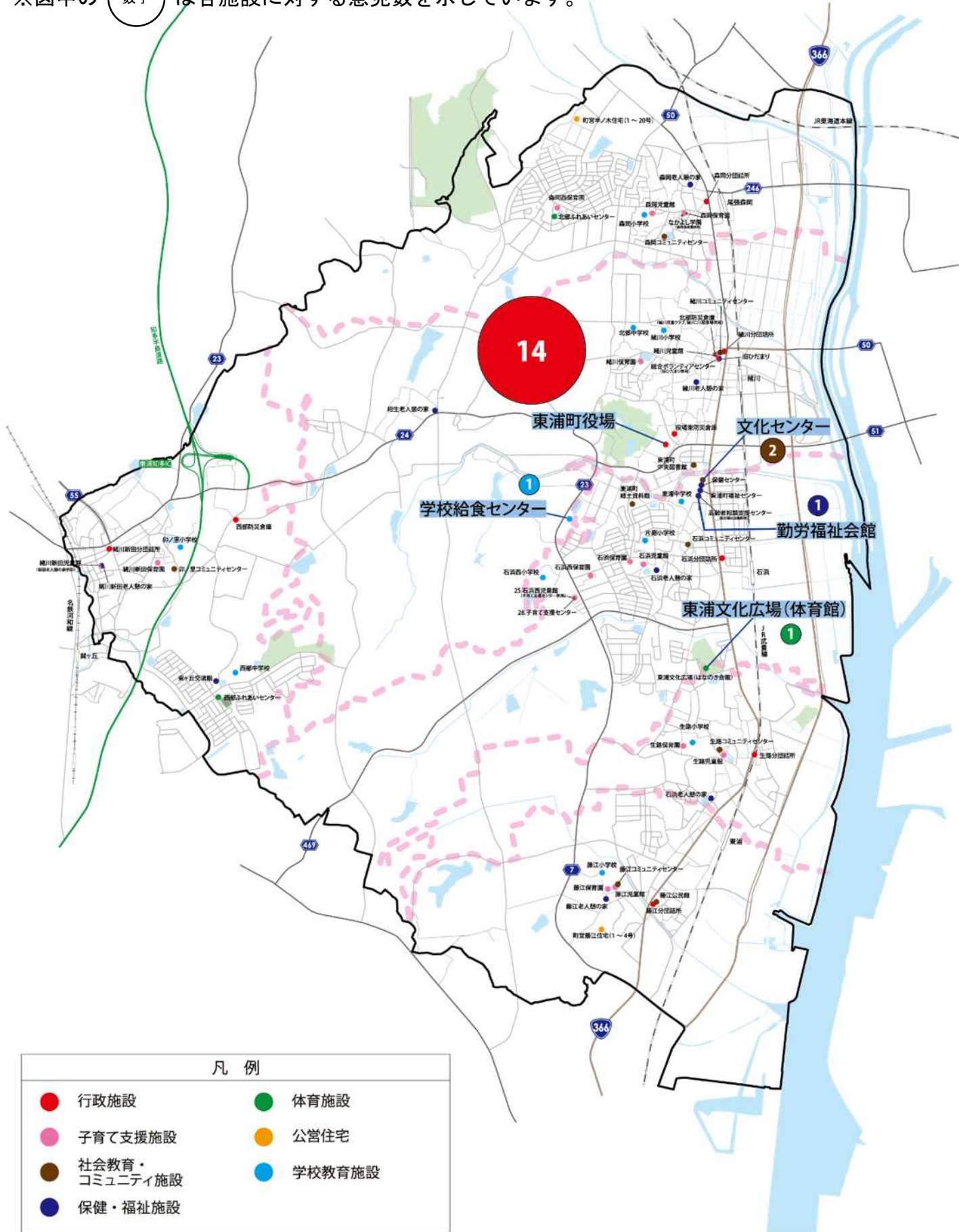
各設問での意見

A) 東浦町内（町全域）にひとつだけ必要な施設とその理由（1枚のみ）		
意見数の多かった施設 ※括弧内の数字は各グループ合計の意見数を示します。 ①東浦町役場（14件） ②文化センター（2件） ③学校給食センター、勤労福祉会館、体育館（1）		
	施設名	理由
1グループ	学校給食センター（1）	・町内にあることによって、温かい給食が食べられる
	東浦町役場（3）	・東浦町の中心（立案・運営+α） ・行政 ・町を運営する拠点として必要
2グループ	東浦町役場（3）	・東浦町全体の管理や運営をしているから ・町の総合的運営 ・災害対応
	文化センター（1）	・コロナでもワクチン接種等、町民が集まる場所が必要
3グループ	役場（4）	・東浦町内の情報の収集・発信の場所として又、県・国との情報交換等が必要 ・町全体の指揮塔 ・必要だがほとんどの人にとって毎日行くようなところではない ・行政手続きの中核であるため
4グループ	東浦町役場（1）	・必ず要る でも年に何度も行くこともない
	文化センター（1）	・他の機能を幅広く取り込むことができる、コア施設となりうる
	勤労福祉会館（1）	・飲食ができて、会議ができる
	体育館（1）	・町内のスポーツ大会、広大な敷地が必要なイベントの開催地が1つはあるべき
5グループ	東浦町役場（3）	・行政の取りまとめ本部として必要 ・行政の総合窓口、複数の窓口がある方が混乱が生じるのでは？

東浦町内(全域)にひとつだけ必要な施設



※図中の **数字** は各施設に対する意見数を示しています。



凡 例	
● 行政施設	● 体育施設
● 子育て支援施設	● 公営住宅
● 社会教育・コミュニティ施設	● 学校教育施設
● 保健・福祉施設	

・B) 地区内にひとつは必要な施設とその理由 (1枚のみ)

※ 地区：緒川・緒川新田・森岡・石浜・生路・藤江 (6地区)

意見数の多かった施設 ※括弧内の数字は各グループ合計の意見数を示します。

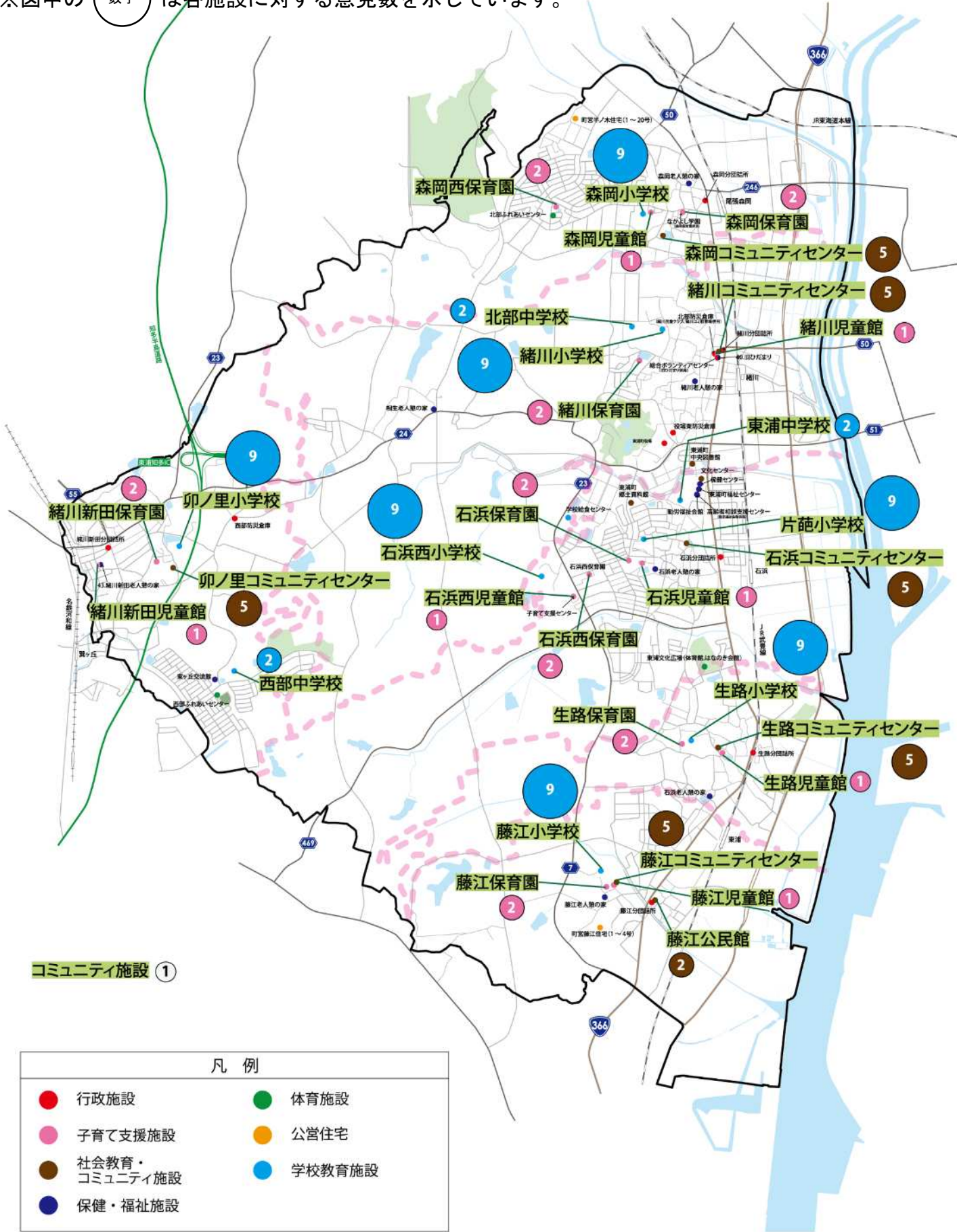
①小学校※学校含む (9件) コミュニティセンター (5件) 保育園 (2件)

	施設名	理由
1グループ	児童館 (1)	・放課後の児童の遊び場が必要だから
	コミュニティセンター (1)	・地域行事に必要な 但し、学校ではなく他施設との集約化が前提
	コミュニティセンター 公民館 (1)	・各地区の中心 (庁舎との連携/Webなど) ※これまでよりも機能を加える(まずはここで解決)
	公民館 (1)	・各地区の行事
2グループ	コミュニティ施設 (1)	・住民のふれ合い、交流の場
	学校 (2)	・地域ごとに文化や考えることは特色がある、できるだけ地域ごとに ・学ぶ場を身近に感じる
	保育園 (1)	・子供が楽しそうに通っており、親も子育て以外のことができるので、ストレス減
3グループ	小学校 (3)	・子供は地域発展する為の宝、避難地 ・学校が家から遠いのは小学生としてはつらいと思うから ・児童の通学への配慮 (地区内に1つは)
	コミュニティセンター (1)	・災害時などの情報の発信・収集
4グループ	小学校 (2)	・児童の通学に適した位置にあると良いから ・やはり地域の核となる拠点
	保育園 (1)	・近くにあり、アクセスしやすい必要がある
	コミュニティセンター (1)	・住民が集うことのできる場所
5グループ	小学校 (2)	・安全に (徒歩) 通学させるため ・あまり遠いと通うのが大変
	コミュニティセンター (1)	・各地区の取りまとめ。災害時の避難や地域交流の場として必要

地区内にひとつは必要な施設



※図中の 数字 は各施設に対する意見数を示しています。



コミュニティ施設 ①

凡 例	
● 行政施設	● 体育施設
● 子育て支援施設	● 公営住宅
● 社会教育・コミュニティ施設	● 学校教育施設
● 保健・福祉施設	

・C) 集約化・複合化できそうな施設とその理由（複数枚可）		
	施設名	理由
1 グループ	体育館+学校（1）	・施設稼働率UP 有効利用
	図書館+学校（1）	・活性化 利用頻度UP 有効利用（本）
	中学校（1）	・小学、保育園、児童館と統合可能
	小学校（1）	・中学、保育園、児童館と統合可能
	保育園（1）	・小・中学校、児童館と統合可能
	児童館（1）	・小中学校、保育園と統合可能
	小学校+児童館（1）	・子供たちが利用しやすくなる
	消防団詰所と防災倉庫（1）	・同じところにあった方が、利便性が良い
	勤労福祉会館+保健センター+文化センター（1）	・特別機能を1エリア1施設に集約
	図書館+郷土資料館+はなのき会館（1）	・目的が似かよっている
	郷土資料館→文化センター周辺（1）	・郷土資料館が少し離れた位置にあるため
	郷土資料館+文化センター+図書館（1）	・分かれている必要性
	図書館⇔郷土資料館（1）	・機能統合しやすそう
	老人憩の家+コミュニティセンター（2）	・お年寄り限定ではなく、町民全体の利用でコミュニケーションを図るのが良いと思う ・地区の人が集う場所として定義
公民館+老人憩の家（1）	・管理しやすくなりそう	
2 グループ	バカレア学校（1）	・世界初バランス感覚の世界で通用する人材輩出
	町の魅力発信力強化施設（1）	・世界に発信できる人材=“異”の交流 ←外国で通用する発想
	空家での公設民営サロン（誰でもいつでも）（1）	・近隣住民のふれあい→気どころ知れる
	学校+コミュニティセンター+老人施設+児童館（1）	・子供から年配の方までみんなで交流できる、支えあえる
	児童館（1）	・学校・子育て支援施設センターとの併設、利便性UP
	児童館+老人憩の家（1）	
	小学校+児童館（1）	・授業後に学童などそのまま通いやすい
	保健センター+子育て支援センター（1）	・健診ついでに支援センターで子供を遊ばせられる、保健センターで相談しやすくなる
	中学校+体育館（1）	
	文化広場+体育館（2）	・中学校の体育館を使う
	文化センター+図書館+勤労福祉会館（1）	・イベント目的で行き、帰りに図書館に寄ったりできる
	文化センター+福祉センター+子育て支援センター+なかよし学園+保健センター（1）	・要配慮者が集まりやすく、支援しやすい環境が必要
	文化センター+勤労福祉会館（1）	

3グループ	学校+民間サービス（1）	・調理室→ABC調理教室 音楽室→ヤマハ教室
	老人施設+保育施設+ボランティアセンター（1）	・ベテラン世代の経験を育児世代に伝授
	公共施設（図書館）（ボランティアセンター）（体育館）+民間サービス（カフェ）（習い事）	・税込アップ
	コミュニティセンター+ふれあいセンター（1）	・同じような事をしていないですか？（児童館も）
	保健センター+子育て支援センター+放課後の学童施設（1）	・共通点がある
	消防団詰所+防災倉庫（1）	・内容に共通点がある
	図書館+資料館（1）	・見物後に調べものができるため
	児童館（1）	・主に小学校との複合化を想定、それなりの数が必要そうだし、図書室など共有できるとよいと思う
	小学校+中学校+保育園（1）	・一貫教育という事もあり、良いのでは
	北部中学校+緒川小学校（1）	・立地的に統合・小中一貫化による合理化
	東浦中+片葩小（1）	・立地的に統合、小中一貫化による合理化
4グループ	学校+コミュニティセンター（1）	・子供の習いごとや学童などと相性がよさそう
	学校+児童館+保育園（1）	
	小学校+児童館（2）	・放課後クラブへスムーズに行ける ・下校時以降の移動が必要なくなる、元々それなりに近い
	郷土資料館+図書館+文化センター（1）	・親和性が高い
	勤労福祉会館+文化センター（1）	・ホール機能を活かし、又商業利用を可能とする
	各種支援センター+役場（1）	・役場で支援する→センターとの移動がいらない、窓口として分かりやすい
	役場+勤労福祉会館（1）	・人が集う場所
	役場+文化センター（1）	・会議、人が集う場所
	郷土資料館と中央図書館（2）	・図書の中にも郷土のものがあり、親和性が高いのでは ・資料を見ることができる
	福祉センター+老人憩の家（1）	・サポート体制
	老人憩の家+コミュニティセンター（1）	・機能重複
	コミュニティセンター+老人憩の家+児童館（1）	
	児童館+老人憩の家（1）	・幼老交流
	保健センター+福祉センター+子育て支援センター+なかよし学園（1）	・横連携が可能
	卯ノ里小+西部中（1）	・距離があるが、実態は小→中へ連続して登校している

		一貫校とすることで、集約できるのでは
5グループ	北部中＋西部中＋卯ノ里小学校（1）	・緒川新田地区高齢化、人口減少
	緒川小学校＋北部中学校（1）	・グラウンドは共有できそう。個性化教育のモデル校（小中一貫）
	文化センター＋図書館（1）	・調べ物をしながら講座・研修ができるため
	新しい東浦中学校（1）	・ロケーションを南寄りへ、藤江地区も近い
	保健センター＋福祉センター＋高齢者相談センター（1）	・健康、福祉の複合施設
	片葩及び石浜西学区の保育園＋小学校（1）	・人口減少に対応・近傍エリアのため
	藤江＋生路の保育園＋小学校（1）	・三丁公園付近のロケーションで集約、人口減に対応
	コミュニティセンター＋公民館（1）	・集まる用途で集約できそう
	コミュニティセンター＋ふれあいセンター（1）	・藤江地区で成功（？）しているため
	老人憩の家をコミュニティセンター内へ（1）	・利用時間差等で調整可

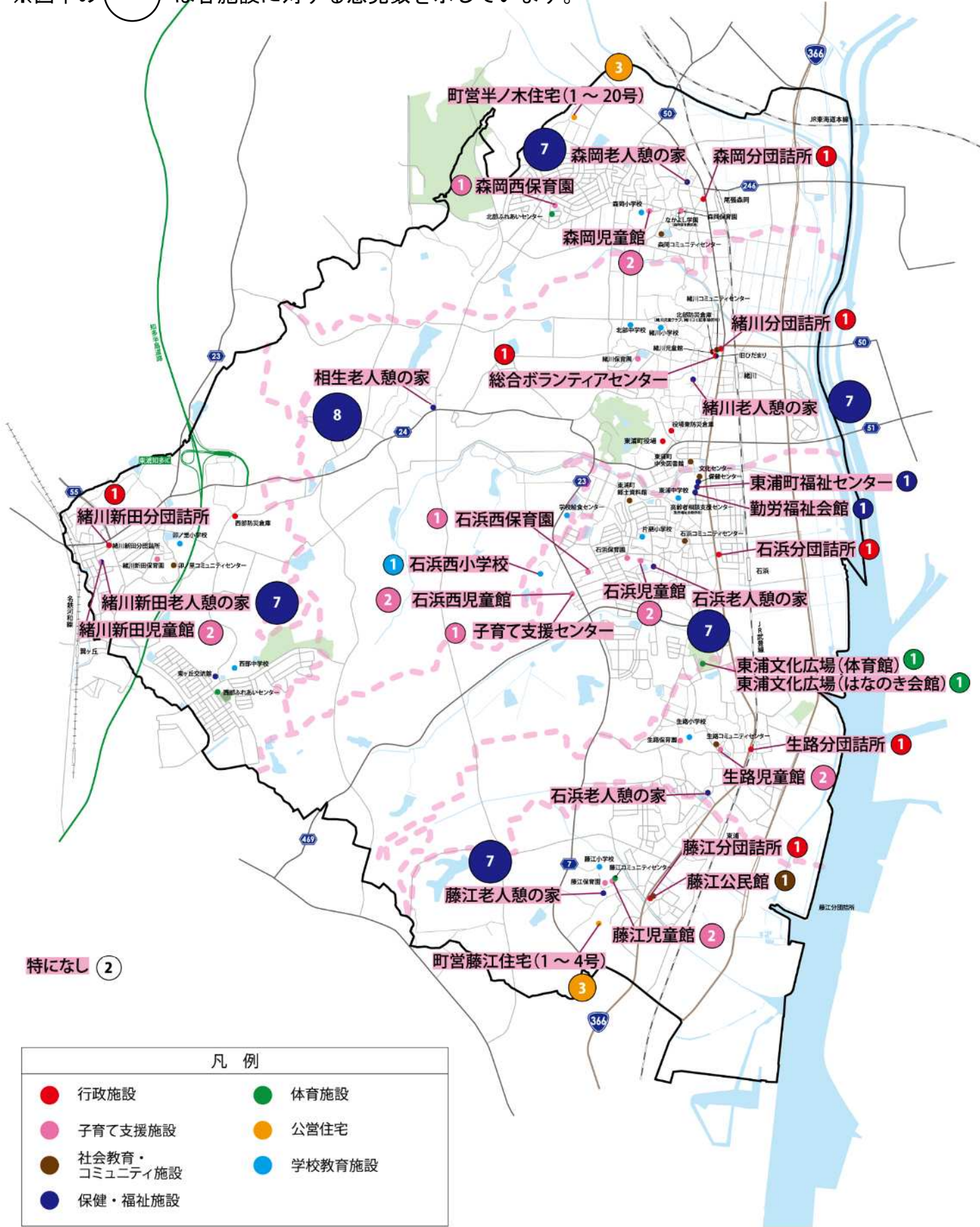
・D) 廃止やむなしと思われる施設とその理由 +用途変更や転用、民間や地元に任せるなどのアイデア（複数枚可）			
意見数の多かった施設 ※括弧内の数字は各グループ合計の意見数を示します。 ①老人憩の家（8件） ②町営住宅（3件） ③児童館、特になし（2件）			
	施設名	理由	用途変更や転用、民間や地元に任せるなどのアイデア
1グループ	勤労福祉会館（1）	・利用目的が不明	
	老人憩の家（1）	・地域の方が集まっている	・地元の方に運営を任せる
	無し（2）	・他施設との集約を優先	
2グループ	老人憩の家（1）	・利用率が低いように思われる	・勤労福祉会館や公民館などで代用可？
	ボランティアセンター（1）	・廃止ではなく、各学校にボランティアセンターの機能があれば“建物”が無くてもいいのでは…	
	福祉センター（1）	・民間の力を	
3グループ	老人憩の家（1）	・効果的に使用していない	
	相生老人憩の家（1）	・他の施設で代替できるため	・老人クラブに譲渡以降の管理を一任してもらう
	消防団（1）	・有効に働いていない、人数が少なくなっている	
4グループ	児童館（1）	・C) ※のとおり集約化していけば、必要なくなりそう ※集約化・複合化	
	老人憩の家（3）	・コミセンに合体 特定の世代にのみ利用されている ・使う時間が限られている	
	町営住宅（1）	・一部の人のみ居住、石浜に大型の県営住宅があり、十分対応可能	
	子育て支援センター（1）	・民間と協働していけばどうか	
	石浜西小学校（1）	・地区内に2カ所有	
	石浜西保育園、森岡西保育園（1）	・地区内に2カ所有	
5グループ	東浦文化広場（はなのき会館）（1）	・住民が体育施設のみと認識している	・ジム
	町営住宅（2）	・民間へ ・民間アパートがある	・廃止

	藤江公民館（１）	・老朽化、コミセンもあるので町管理から神社管理にしては？	
	老人憩の家（１）	・どう使われているのかわからない	
	児童館（１）	・学校、子育て支援センターで代用できるため	・児童クラブ→学校 ・その他用途→うららん

廃止やむなしと思われる施設



※図中の 数字 は各施設に対する意見数を示しています。



2 プログラム及び当日の様子

1. はじめに～開会

- ・東浦副町長から開会のあいさつ
- ・町及び日本工営都市空間より「未来会議」の目的・趣旨を説明後、運営スタッフの紹介



2. 基調講演「これからの公共施設再編に向けて」

講師：名古屋大学大学院環境学研究科 小松尚教授

- ・「これからの公共施設再編に向けて」と題して、公共施設の再編を進めていく上で出てくる課題について、学校施設の事例を交えて説明いただいた。



3. アイスブレイク～2030 SDGs ゲーム

- ・名札を作成し、自己紹介を始め、テーブルメンバー間でアイスブレイクを実施した。
- ・SDGsの概要説明により、持続可能な未来を追求するために世界的にSDGsの達成が求められていることを共有した。
- ・2030 SDGsゲームを行い、個人や団体の個別の行動が、経済、環境、社会に影響を及ぼし世界の状況が変化するということを体験・理解した。

◇SDGs ゲームの概要

- ・各グループに与えられたゴール（お金カードを集める、プロジェクト達成カードを集める等）を達成するために、お金カード又は時間カードを消費してプロジェクトカード（産業振興プロジェクト、化学物質の使用抑制プロジェクト等）を推進し、その結果、世界全体の経済ポイント、環境ポイント、社会ポイント等が増減し、世界の状況が向上または悪化することを体験する。



4. ふりかえり～持続可能なまちづくり／公共施設再編に向けて

- ・ 2030 SDGs ゲームから導き出した意見の振り返りをした後、SDGs の本質と可能性をふまえた持続可能なまちづくり、公共施設の再編に向けての視点や方向性について共有した。



◇気づき・学び

- ・ ○○すべき、だけでは世界は動かない
- ・ つながっている世界、そして、私も起点
- ・ 世界が目指す目標を「見える化」し、共有することによって行動が変わる
- ・ 他人ごとではなく、「自分ごと」として捉える

5. まちの今を知る

①午前の基調講演に対する「質問カード」への回答（小松教授から）

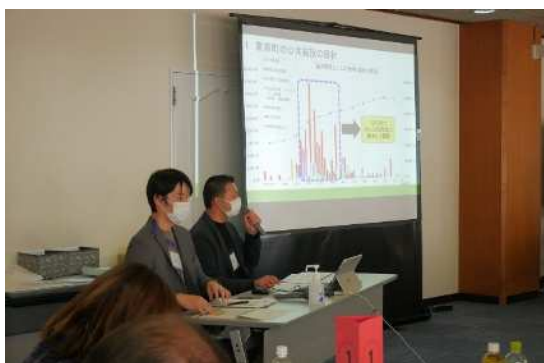
- ・講演を受けて、疑問に思ったこと、教えてほしいことを質問カード記入してもらい、小松教授にお答えいただいた。

- Q. 事例を実際に展開していく上で、地域・自治体はどのような視点を持つべきか。
A. 再編の成果が出るのは10～20年単位であり、次の世代の為に何が出来るかを考える。地域や自治体は、将来的な居住地の計画と公共施設をセットで考えていくことが大切。
- Q. コミュニティ施設や小学校を統廃合する際、アクセスが難しくなる場合はどうするべきか。
A. バスを走らせる等アクセスしやすい地域拠点としてコミュニティ施設をつくることや、既にある拠点（駅・商業施設）の近くに設置することが考えられる。
- Q. 近隣の空き家の活用はできないか。
A. 可能性は大いにある。今後はどの自治体も集会施設を保有し続けることはできなくなることが想定されており、空き家に手を入れて集会施設にすることが考えられる。
- Q. 事例にて反対意見はどう対応したのか。
A. 事例でも反対意見はあり、現在もある。これまでと違う手法なので、以前と同じことはできない。その代わりに、新しい良いことを探しましょうと伝えている。



②東浦町を取り巻く現状と課題

- ・町職員より、東浦町の人口推移、老朽化状況、更新費用、財政状況、町が保有する公共施設の現状・課題等について説明した。



6. これまでの検討結果から見えてきたこと

- ・日本工営都市空間より、都市計画マスタープランでのワーク、議会等からいただいた再編に関する意見や、東浦町で実施した「公共施設に関するアンケート調査」及び地区別ヒアリングの結果を紹介した。



7. グループワーク「公共施設再編ワーク」

- ・小松教授より、公共施設再編に向けてのワンポイントアドバイスを3点いただいた上で、公共施設再編ワークを実施した。

◇公共施設再編に向けてのワンポイントアドバイス

- ・正解はないよ！
- ・ネガティブ⇒ポジティブに マイナス×マイナス＝プラス
- ・継続のための提案を！

- ・ワークは“東浦町内に必要な施設”“地区内にひとつは必要な施設”“集約・複合化できそうな施設”“廃止やむなしと思われる施設”の4つの観点から実施し、個人ワーク及びグループで提案づくりを行った後に参加者全員と共有した。

8. ふりかえり・講評（小松先生）

- ・グループワークを受けて全体ふりかえりの後、小松教授より講評をいただいた。

◇小松教授からの講評

公共施設再編で大切なのは、どんな将来ビジョンを描くのかということ。それから複合・統廃合の議論に入っていくのが重要だと改めて感じた。そして、この建物（勤労福祉会館）は何の為にあるの？文化センターと何が違うの？という問いが印象的だった。

機能の似た施設の代表例が集会施設であり、集会施設の整理は、東浦町だけではなく全国の自治体で課題となっている。時代とともに変化する新しい公共サービスと施設の再編計画が両輪になっていくと、柔軟なまちづくりができる。継続して議論、提案をお願いしたいと思う。



9. おわりに

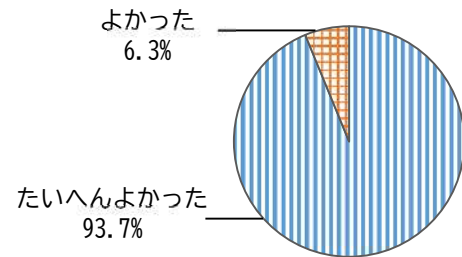
- ・閉会のあいさつ
- ・ひとことアンケート

3 ひとことアンケート結果

第1回ひがしうら公共施設未来会議にご参加いただいた方々に、アンケート調査を実施しました。結果は以下のとおりです。

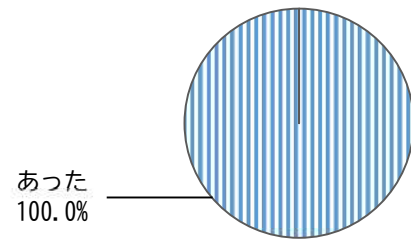
◆きょうは、いかがでしたか？

	件数	比率
たいへんよかった	15	93.7%
よかった	1	6.3%
よくなかった	0	0.0%



◆ご自分にとって、プラスになるものがありましたか？

選択肢	件数	比率
あった	16	100.0%
少しあった	0	0.0%
なかった	0	0.0%



◆きょう、とくに「気づいたこと」や「発見したこと」があれば、お書きください。

- ・老人憩の家が不要と感じる人が多いらしいことを知った。当事者性がなく、考えたことがなかった。
- ・SDGsについてよりイメージが深まりました。タイトルの通り、次の世代の人に向けた会議でした。
- ・「私も起点」という言葉が印象に残りました。積極的にこの街に関わっていくことが大事なのだと学びました。
- ・建物と人だけではなく、今後の東浦のあり方、めざす所、建替え、集約するだけではないんだと感じました。
- ・公共施設の使用用途について調べたことが無かったのでとても勉強になりました。
- ・いろいろな人の意見や考え方があると思えば大変良い時間をすごせました。
- ・施設によって用途（営利目的が可能か）に違いや縛りがあること。

- ・ 公共施設のあり方について、行政任せではなく、私事として考えねばならないと感じた。
- ・ 会議→オペレーションが良かった。
- ・ 小松尚さんのお話が大変勉強になりました。木を見て森を見ずなところがあった事に気づかされた、今後、役場の皆様にどんな東浦町をつくりあげて行くかをもっと練ってから、より良い、住みやすい街になれば幸いです。
- ・ SDGs や東浦町の運営や将来について。自分のこと（自分で影響を与えられる）と考えて動いていきたいと感じた。
- ・ 知らない施設がたくさんありました。町の公共施設問題が深刻だと気づきました。
- ・ 子育て世代、若者世代等、必要と考える施設の考え方に差があり、興味深かったです。合理化を推し進めることが皆にとって必ずしもよい考えとは限らず、自身の考え方をより深める必要性があると感じました。
- ・ 大きな計画を立案する際にはコンセプト、方針を明確にすること。次世代のために何をしてあげることが出来るのか、いろいろと考える貴重な機会でした。
- ・ 住民の意見が聞ける貴重な機会

◆その他

- ・ 大変有意義でした。また、メンバーもやる気のある構成の実に詰まった内容でした。
- ・ 細かいところまでご配慮くださりありがとうございました。特に託児にまでご対応いただけたことは感謝申し上げます。
- ・ 午後からの参加でしたが、勉強になりました。SDGs も関わってくるんだと発見もありました。
- ・ 次回も参加します。
- ・ 各地区でのコンセンサス（合意）形成が必要
- ・ 楽しく参加できた。皆さん、積極的ですばらしかった。
- ・ 住民参加の会議を開いていただきありがとうございました。今後も多くの住民の意見を取り入れていただきたいと思います。